

# 岡山大学で法医学解剖を受けられた方のご家族へ

## —「法医学解剖検試料を用いた薬毒物等関連事象の解析に関する研究」へご協力のお願—

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野 教授 宮石 智

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野 非常勤講師 三浦 雅布

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

法医学解剖においては死体試料から各種中毒物質の分析等は頻繁に行われることであり、その分析対象も多岐にわたります。中毒は死因の一つとしても常に念頭に置かれるべきものでありますが、法医学においては死因に関係ない微量な物質であっても問題となることがあるのが特徴です。例えば、性犯罪事案における被害者から検出されうる睡眠剤などは、薬用量ないしそれ以下であっても重要な意義を持ち、死因となるほどの血中濃度ではない場合でも慎重に検索される必要があります。また、物資の作用の結果としての臓器の顕微鏡的变化、血液等における酵素活性やホルモン濃度の変化を捉える必要もあります。

しかし多岐にわたる物質について、死体血液中からどのような方法で検出するのが最適であるか、それらは死体内でどの程度の安定性を保つのか、物質毎の試料の適切な保存方法は何か、臓器の変化や酵素活性・ホルモン濃度がどうであったらどのような物質のどのような影響と考えるのかについては検証の余地が多分にあります。また試料の種類についていえば、死体においては十分な血液・尿を採取できない場合は頻繁にあり、各種物質毎に最適な代替試料を検証することも求められています。そこで法医学解剖となった死体において、血液・尿に加えて脳脊髄液・胆汁といった液体試料の他に各種臓器片を使用して、法医学解剖検試料を用いた薬毒物検査等の基盤となる手法の確立を目的とするばかりでなく、臓器の顕微鏡的变化や血液中の酵素活性やホルモン濃度から、薬毒物の関与を判断する基準の策定を目指します。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究成果により、死体試料から得られる薬毒物の濃度を調べ、死体試料を用いた薬毒物中毒診断方法を確立することができると考えられます。また、臓器の顕微鏡的变化や血液中の酵素活性やホルモン濃度に基づいて、中毒死や薬毒物関連死の見落としを防止にもつながってゆくと考えられます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

法医学分野で解剖された方のうち、胃内容物から薬物塊が見つかった死体など、体内に薬毒物を有することが強く予想されるものを研究対象とします。対照として、病歴や薬物歴がなく、死亡時の状況からも薬毒物の使用が疑われない事例を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

#### 3) 研究方法

本研究では、生前に中毒物質等への暴露が疑われる事例とそうではない事例を対象とし、それぞれから試料として血液（心臓血及び末梢血）・尿・胆汁・脳脊髄液などの液体試料及び各種臓器片（脳・肝・腎・

肺・心筋・骨格筋など)を採取します。各試料を冷蔵又は冷凍条件下で保存し、ガスクロマトグラフィーなどを利用して各物質の測定を行います。また血液などの体液中の酵素活性やホルモン濃度の測定、臓器の顕微鏡検査を行います。

#### 4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、既存の法医剖検試料使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないよう十分留意します。また、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、医剖検診断の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、個人の情報などが漏洩しないよう十分留意します。また、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 7) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、希望される場合にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などの個人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が研究に使用されることについて、ご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年3月1日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野

氏名：三浦 雅布

電話：086-235-7201

Mail：houigaku@md.okayama-u.ac.jp